第76回　定時株主総会

今後とも変わらぬご愛顧をお願い申し上げます

2015年6月25日

鬼怒川ゴム工業株式会社

KINUGAWA

1．2014年度実績と2015年度予測

（事業の経過及びその成果）

KINUGAWA

2014年度実績　決算概要

■ 増収減益（売上高：102.1%, 営業利益：95.0% 対前年同期比）

（単位：億円/未満四捨五入）

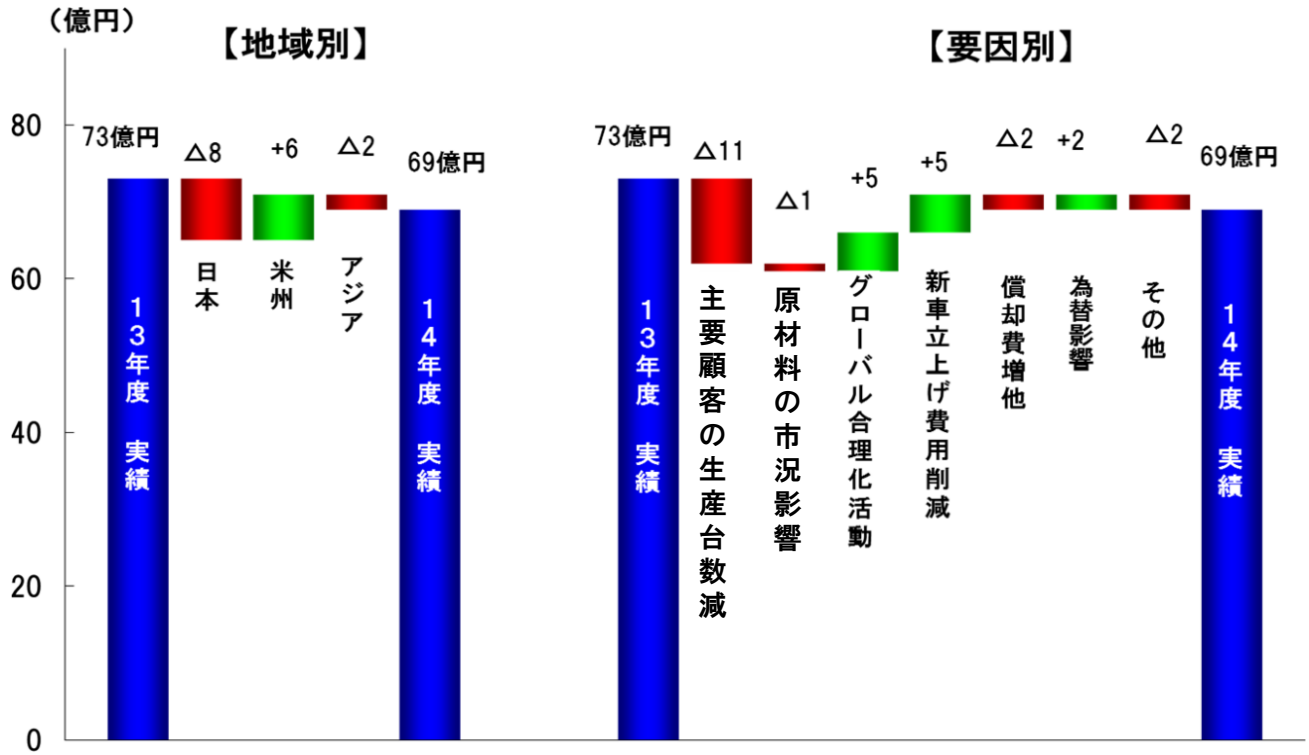
	2013年度 通期	2014年度 通期	（増減率）
売上高	745	761	(2.1%)
営業利益	73	69	(-5.0%)
営業利益率	9.8%	9.1%	
経常利益	81	74	(-8.7%)
経常利益率	10.8%	9.7%	
当期純利益	47	43	(-8.5%)
総資産	610	714	(16.9%)
自己資本	305	367	(20.4%)
自己資本比率	50.0%	51.5%	
借入金残高	85	116	
DEレシオ	0.3	0.3	

（注）前期の貸借対照表科目は前年3月末、（　）内は前期との増減比率

KINUGAWA

営業利益の変動要因（地域別・要因別）

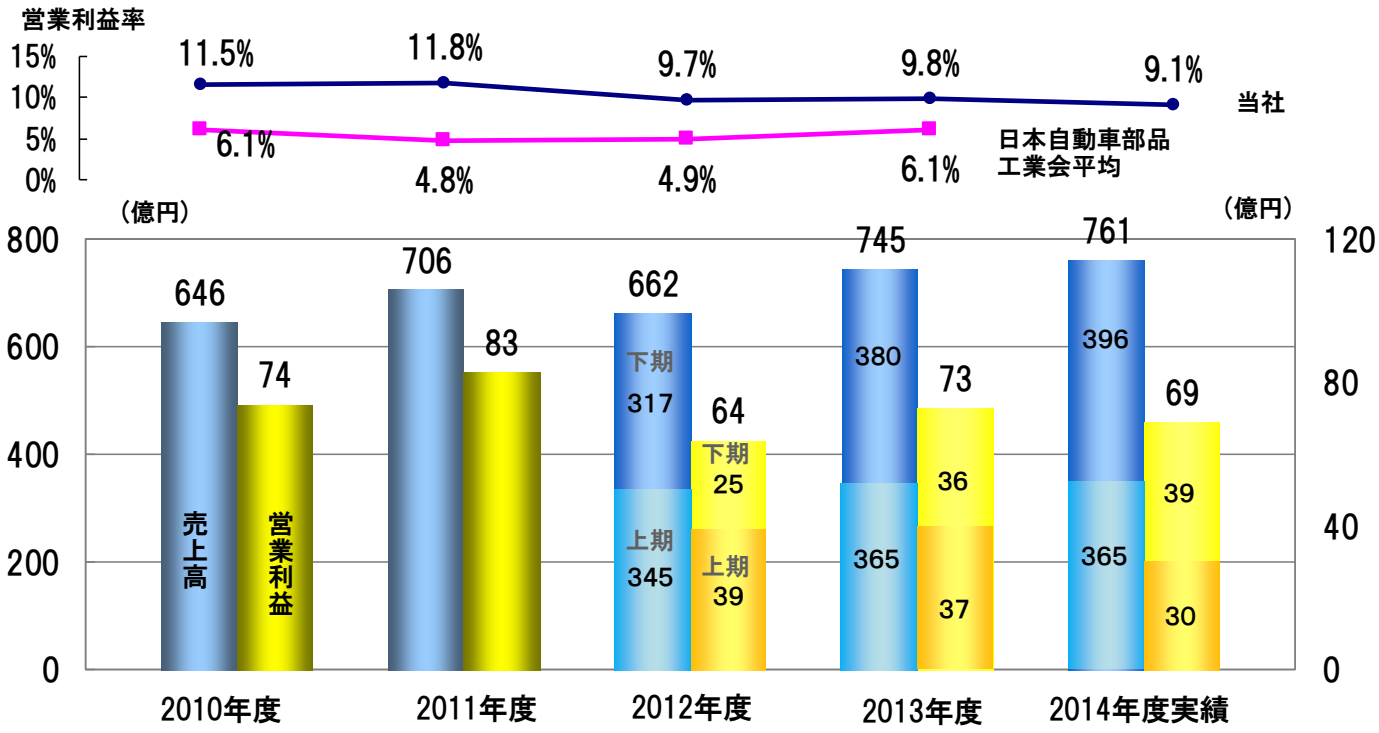
■ 合理化、新車立上げ費用削減により収益改善したものの、主要顧客の生産台数減により減益



KINUGAWA

年間業績の推移

■ 売上高は761億円と微増、営業利益は69億円で微減

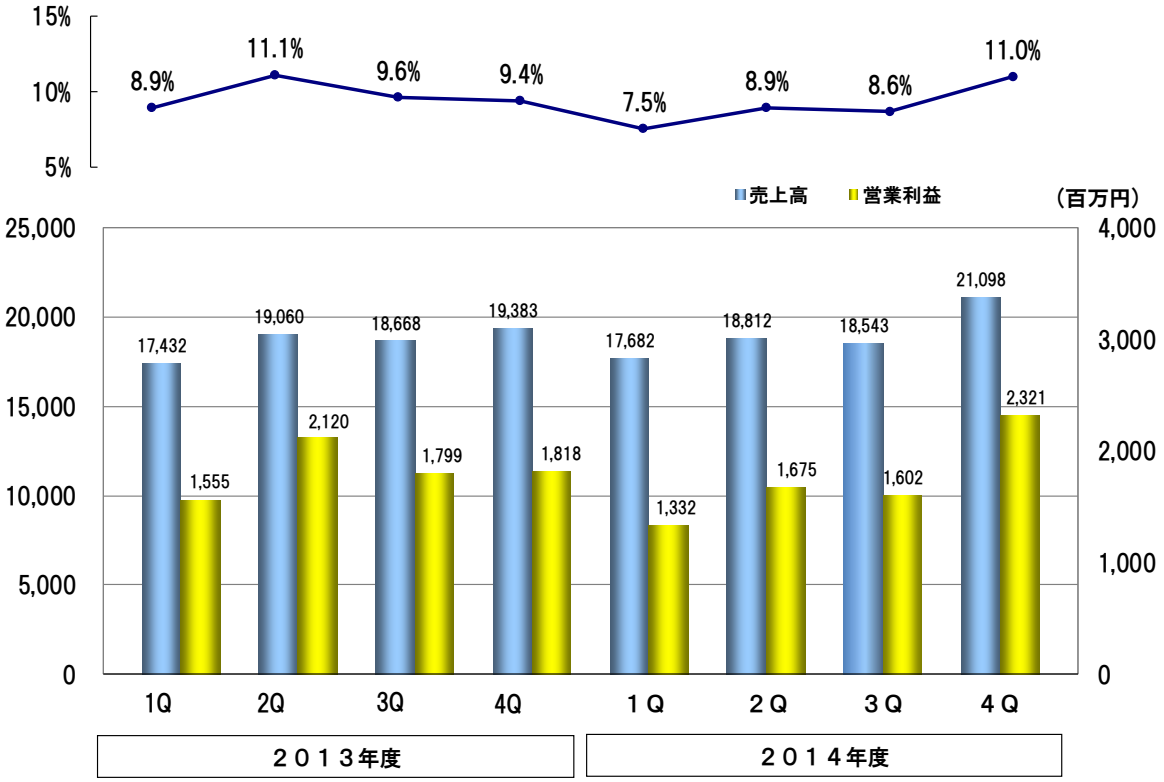


参照：日本自動車部品工業会資料より抜粋

KINUGAWA

四半期業績の推移

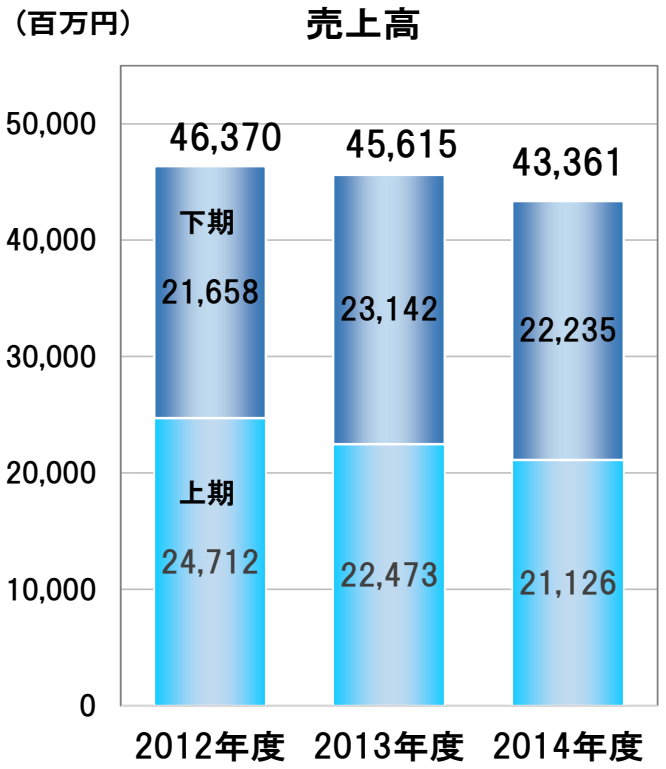
■ 第4四半期は売上増加、収益改善活動により利益率は大幅に向上

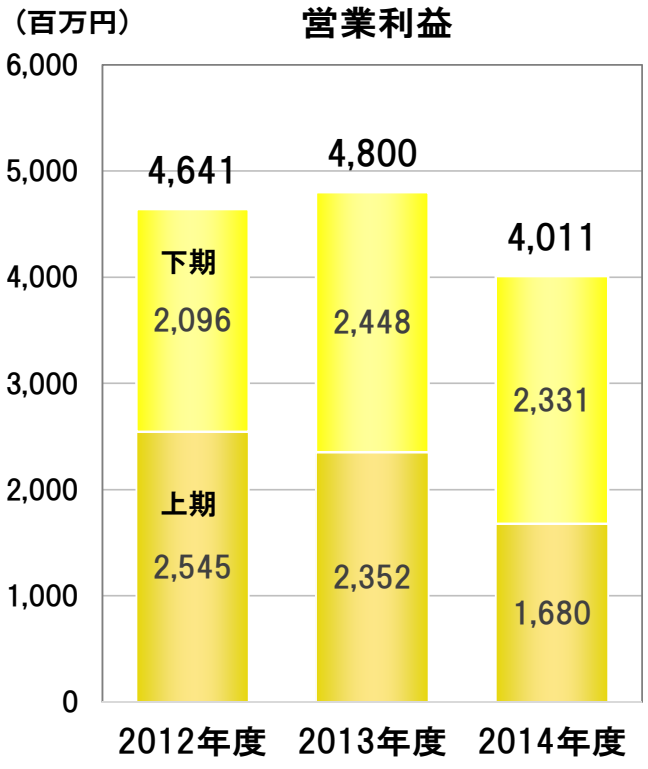


KINUGAWA

地区別売上高・営業利益（日本）

■ 主要得意先の自動車生産台数の減少に伴い減収減益

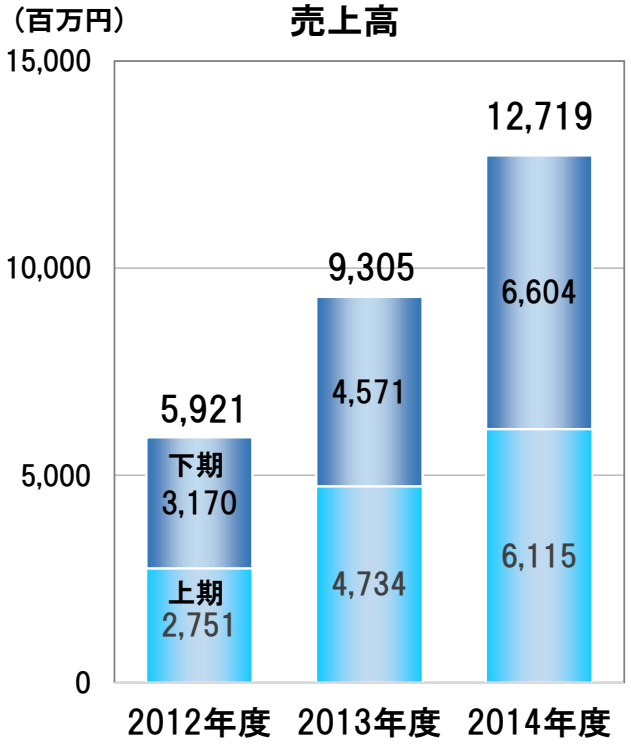


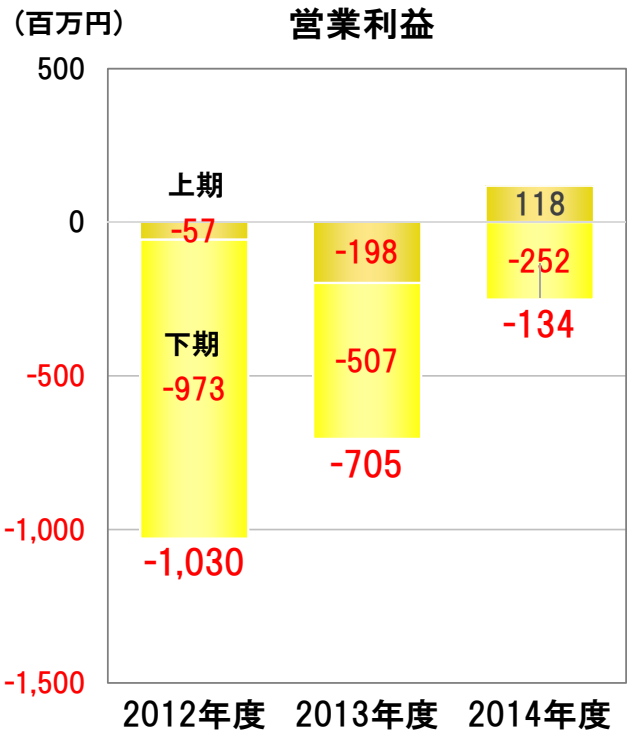


KINUGAWA

地区別売上高・営業利益（米州）

■ 新規取引先及び自動車生産台数の増加で売上増加、
生産性向上や新車立上げ費用の削減等により収益改善

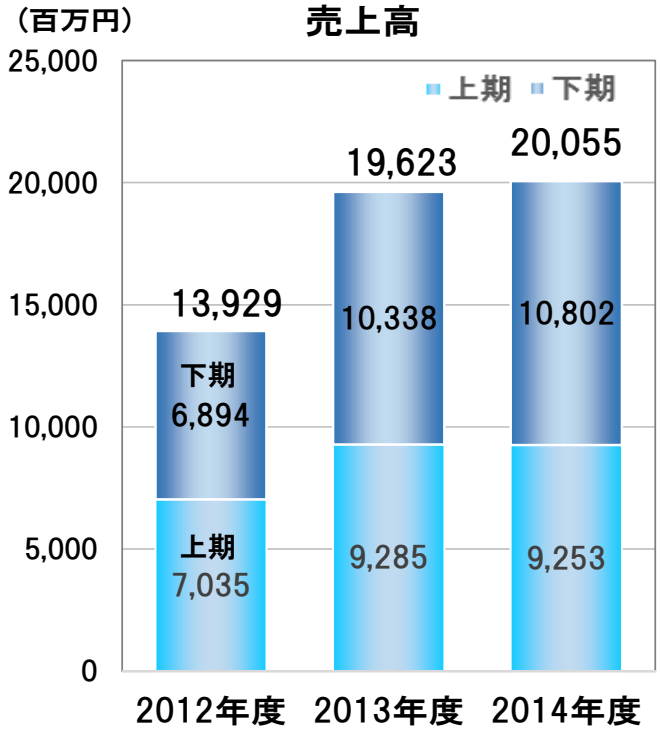


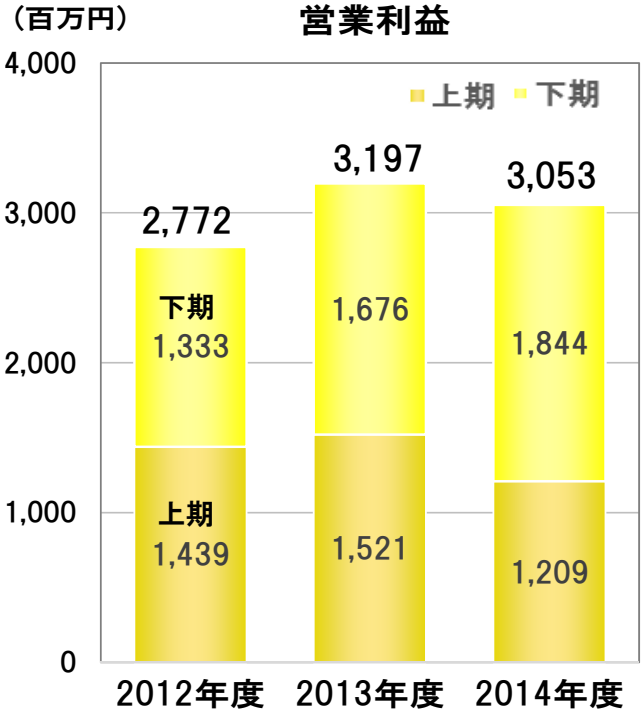


KINUGAWA

地区別売上高・営業利益（アジア）

■ 中国・タイでの主要取引先の自動車生産台数の減少により利益減少

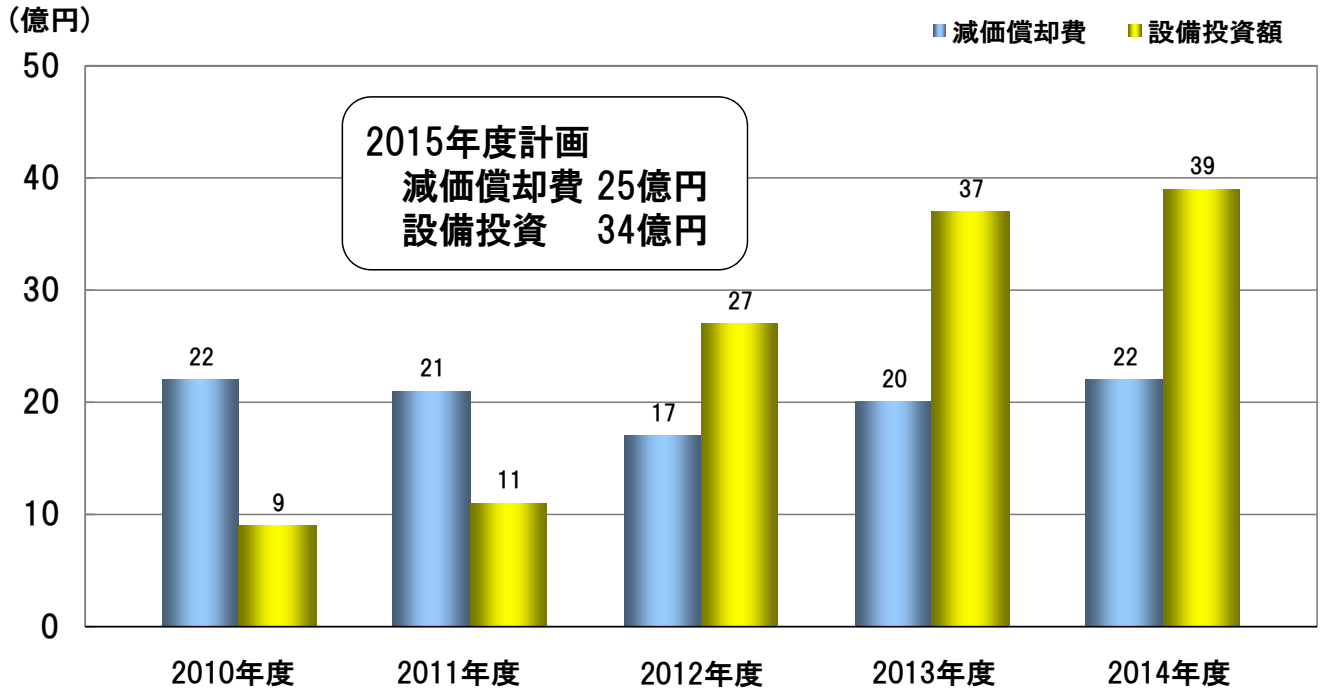




KINUGAWA

設備投資・減価償却費の推移

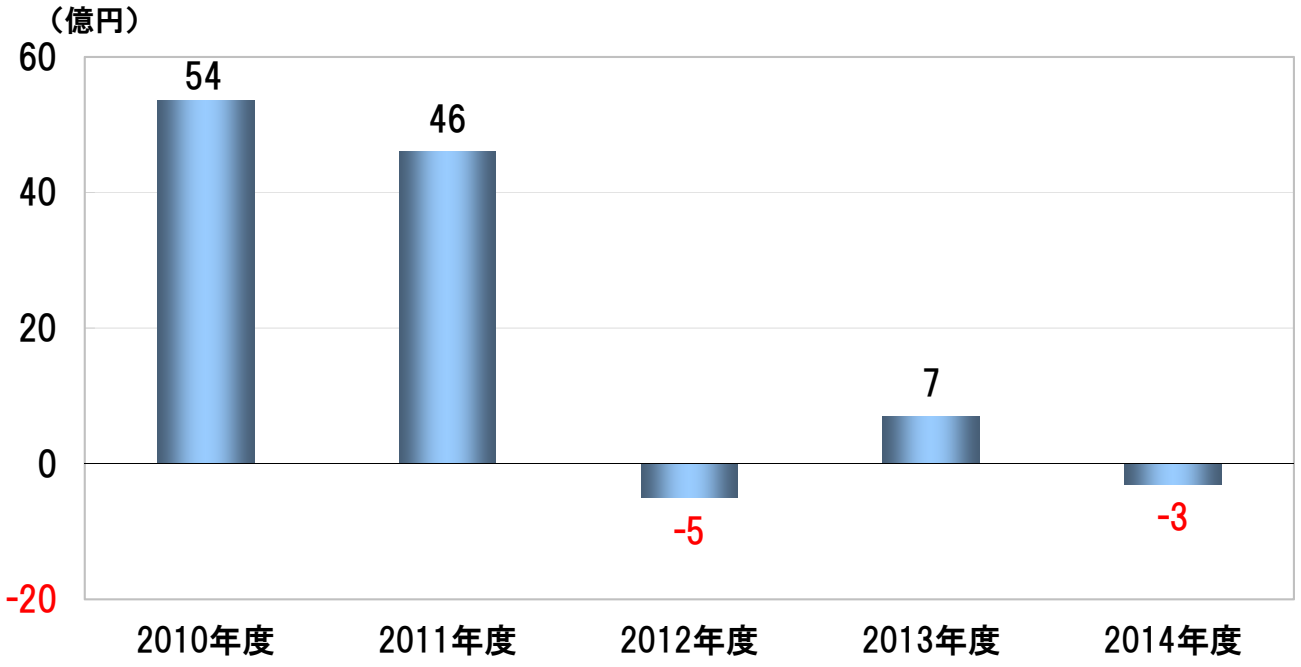
■ 拠点拡大及び防振部品・ホース部品の海外生産拡大などにより、米州・アジアを中心に39億円の投資を実施



KINUGAWA

フリーキャッシュフローの推移

■ 今後の成長につなげる為の設備投資は継続したものの、2014年度のフリーキャッシュフローはほぼゼロを維持



2015年度 業績予測

■ 売上は800億円、5%増、営業利益は84億円、20%増の見込み

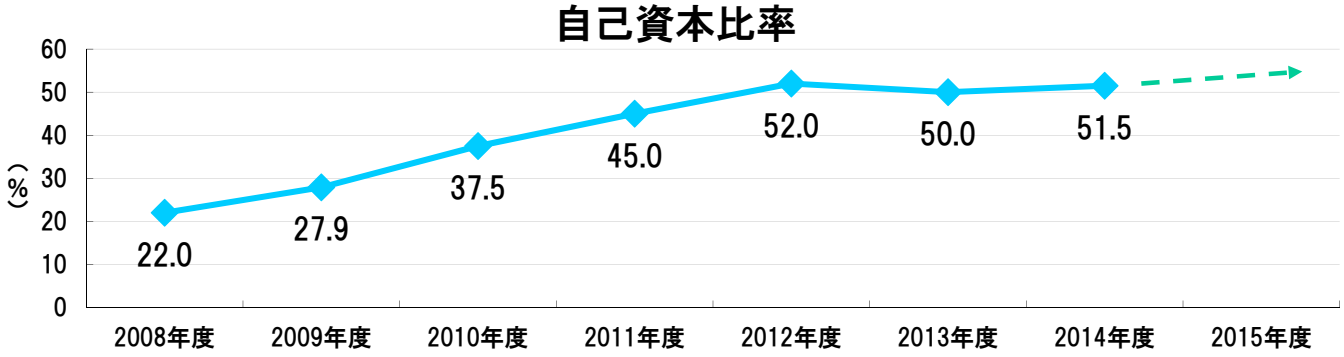
（単位：億円/未満四捨五入）

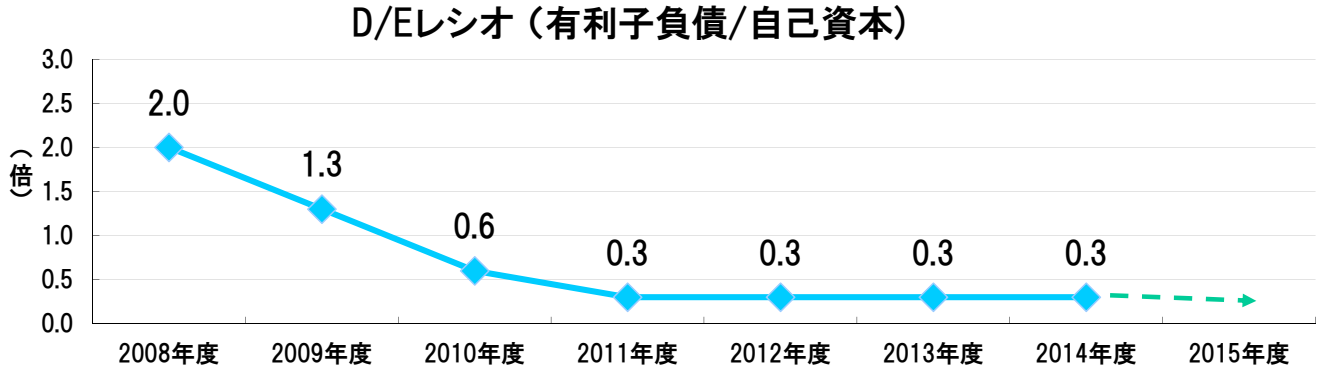
	2014年度 実績	2015年度 予測	（増減率）
売上高	761	800	(5.1%)
営業利益	69	84	(21.2%)
営業利益率	9.1%	10.5%	
経常利益	74	80	(8.4%)
経常利益率	9.7%	10.0%	
当期純利益	43	50	(16.5%)

※想定為替レート　US$　120円/$　人民元 19円/元

主要経営指標の達成状況と見通し①

■ 自己資本比率、D/Eレシオは着実に改善

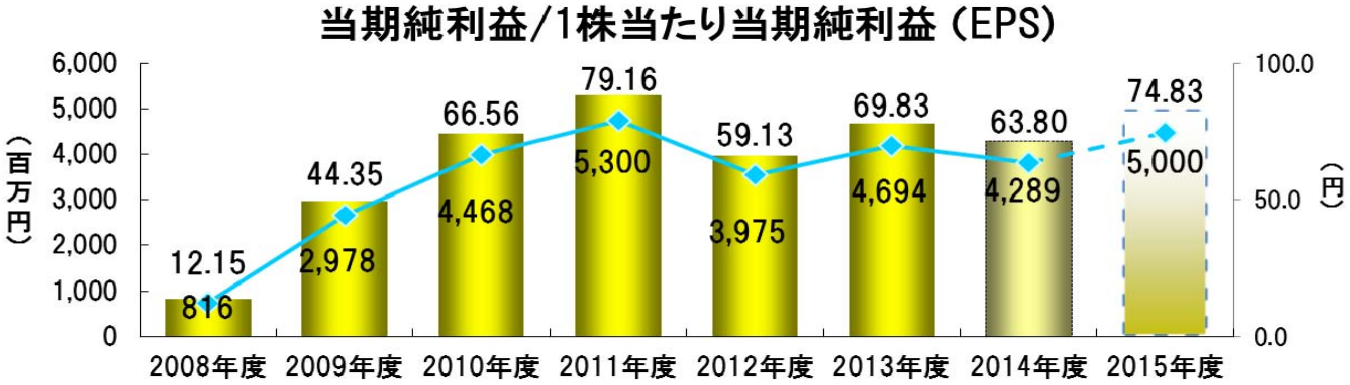


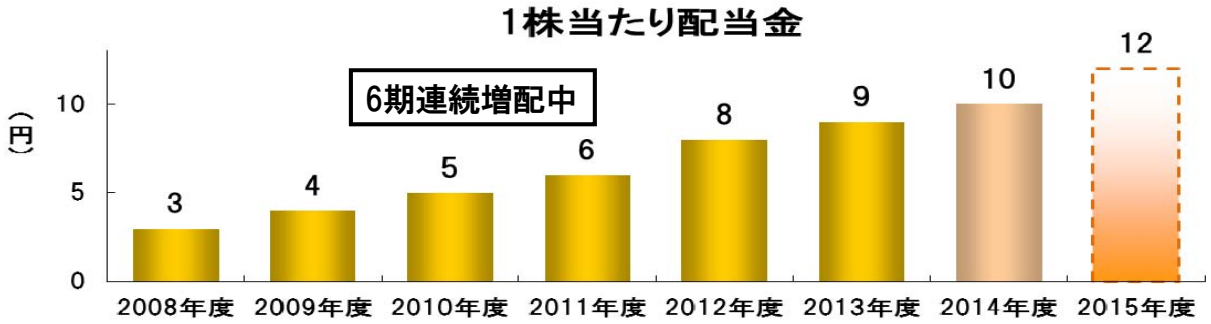


KINUGAWA

主要経営指標の達成状況と見通し②

■ 2014年度は2008年度に対して1株当たり当期純利益（EPS)が5.3倍、配当金は3.3倍に上昇





KINUGAWA

2．主な活動と取組み状況

（対処すべき課題）

KINUGAWA

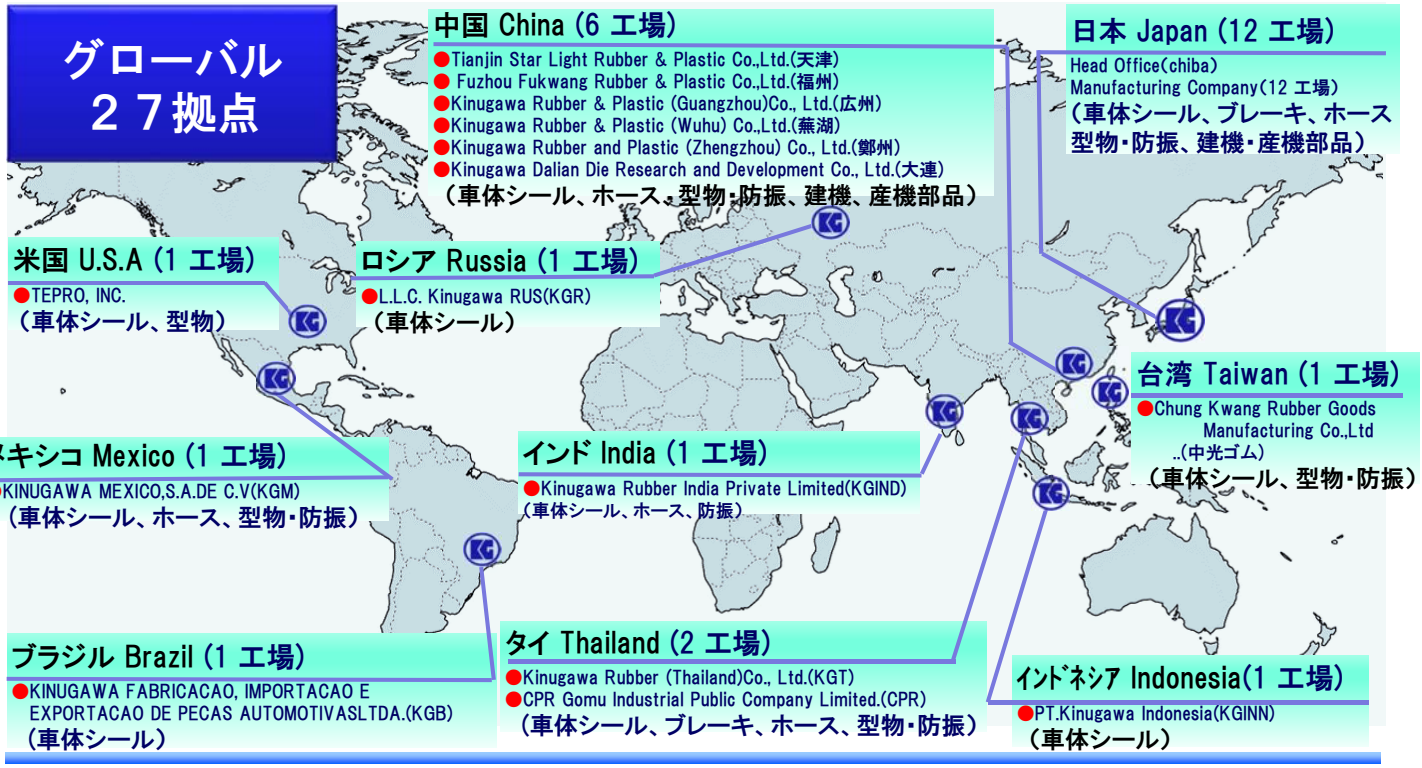
今後の目指す姿

■ 生産準備能力、モノ造り力、顧客提案力、マネジメント力の更なる向上を通じて、お客様から信頼され、喜ばれるNo.1企業を目指す

KINUGAWA

鬼怒川ゴムグループ拠点の展開状況

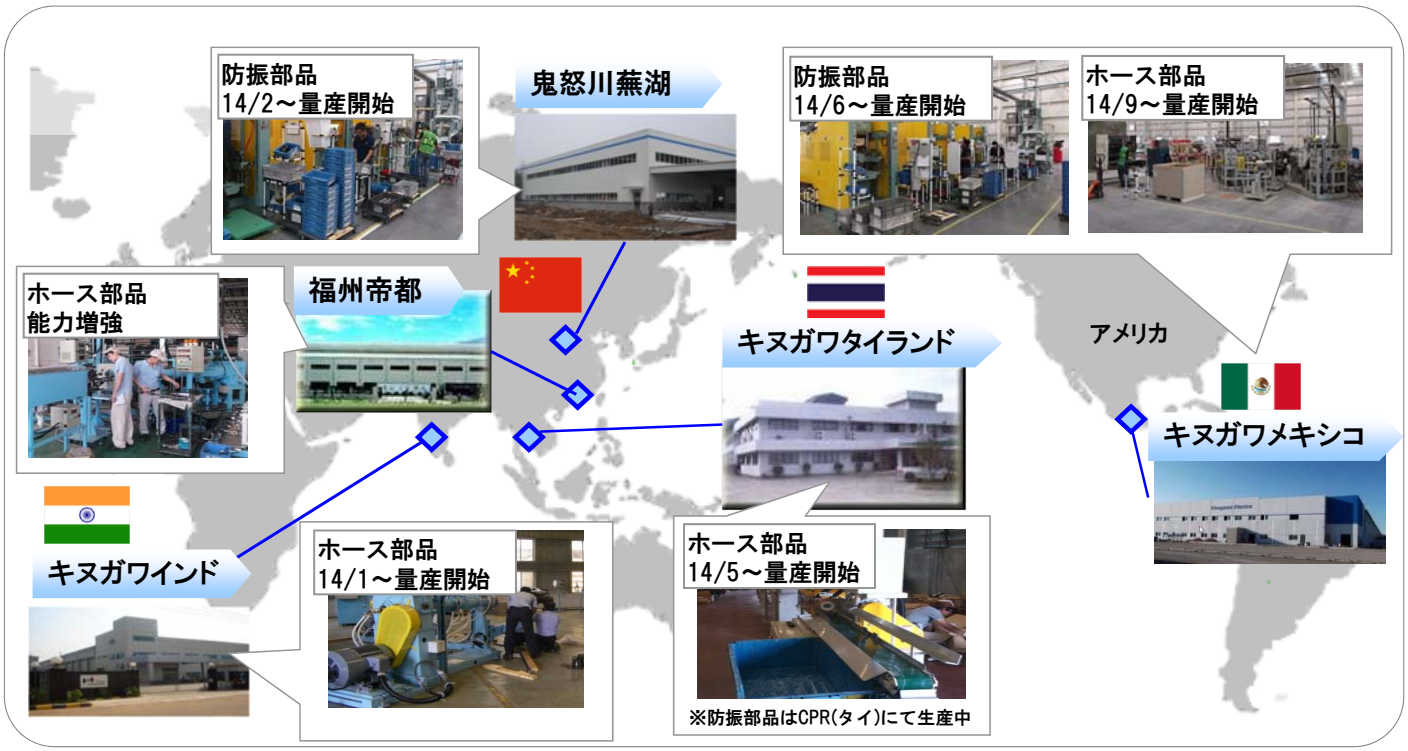
■ 鬼怒川ゴムグループは、全リージョンで車体シール部品、型物・防振部品、ブレーキ・ホース部品を安定して供給



KINUGAWA

ホース・防振部品のグローバル拠点展開状況

■ メキシコ、タイ、中国、インドでホース部品や防振部品の生産を拡大



KINUGAWA

生産準備能力の向上

■ 生産準備のノウハウを標準化し、自主自立で新製品を立上げ

どこでも同じ品質の製品を作れる生産方式を導入

新製品の生産開始に向けた自主自立での進捗確認会

KINUGAWA

CSR活動の強化 – 3つの重点項目と積極的な情報開示

■ 鬼怒川ゴムグループは3つの重点項目(企業統治、環境、人材活用)に取り組むとともに積極的なCSRに関する情報開示を行う

・グローバル危機管理の対策
・コンプライアンス体制の強化
・ガバナンスの強化

・Webサイトでの非財務情報の掲載拡大

企業統治＋社会性

・ゼロエミッション継続
・エネルギー効率アップ
・製造電力の削減、リサイクルの促進

・現地人材の能力育成・活用
・様々な業務への女性登用

情報開示

環境

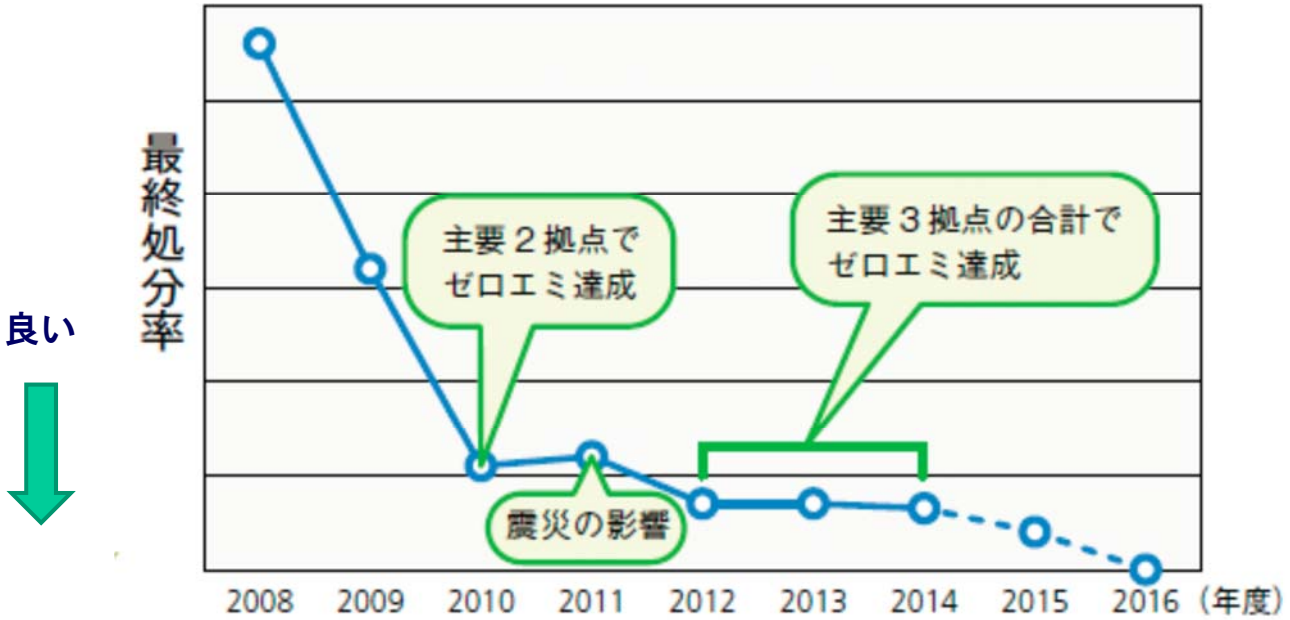
人材活用

KINUGAWA

環境への取組み – ゼロエミッション継続

■ 循環型社会を目指した産業廃棄物の最終処分量の削減
（再利用可能な樹脂材の推進、廃棄物の削減、分別の徹底による再資源化）

最終処分率推移



*ゼロエミ = ゼロ・エミッションの略。最終処分率1．0%以下の状態を指す。

コーポレートガバナンス向上に向けて

■ 会社法改正や東証の上場規則改正（コーポレートガバナンスコード）など
を踏まえ、更なる内部統制の向上を図る

実施項目	実施時期	主な内容
1） 社外取締役2名の招聘	本株主総会に上程	取締役会の監督機能を強化するため独立社外取締役2名を置く
2） 内部統制システムの整備	2015年6月施行 （2015年5月27日公表）	子会社及び関連会社の経営管理を高めるため『関係会社管理規定』によりグループ内のリスクマネージメントを構築
3） コーポレートガバナンスコードへの対応	コーポレートガバナンスコード報告書の提出 2015年12月までに実施	コードへの対応 （COMPLY or EXPLAIN） をコーポレートガバナンス報告書で提出

財産及び損益の状況

（百万円）

《区分》	11年度（第73期）	12年度（第74期）	13年度（第75期）	14年度（第76期）
売上高	70,611	66,221	74,543	76,135
当期純利益	5,300	3,975	4,694	4,289
1株当たり当期純利益	79.16円	59.13円	69.83円	63.81円
総資産	46,713	49,073	61,038	71,371
純資産	21,625	26,332	31,535	38,021
1株当たり純資産	312.59円	379.58円	453.90円	546.67円

KINUGAWA

連結貸借対照表

（百万円）

《科目》	13年度（第75期）	14年度（第76期）	増減
（資産の部）			
流動資産	31,819	36,997	5,178
固定資産	29,219	34,374	5,155
有形固定資産	24,156	27,147	2,991
無形固定資産	618	579	△ 39
投資その他の資産	4,444	6,647	2,203
資産合計	61,038	71,371	10,333

KINUGAWA

連結貸借対照表

（百万円）

《科目》	13年度（第75期）	14年度（第76期）	増減
（負債の部）			
流動負債	19,035	22,222	3,187
固定負債	10,468	11,127	659
負債合計	29,503	33,350	3,846
（純資産の部）			
株主資本	27,739	30,685	2,946
その他の包括利益累計額	2,772	6,058	3,286
新株予約権	58	88	30
少数株主持分	965	1,189	224
純資産合計	31,535	38,021	6,486
負債純資産合計	61,038	71,371	10,333

KINUGAWA

連結損益計算書

（百万円）

	13年度（第75期）	14年度（第76期）	前年比	
			増減額	増減率(%)
売上高	74,543	76,135	1,592	2%
売上原価	60,342	62,342	2,000	3%
販売費及び一般管理費	6,908	6,862	△ 46	−1%
営業利益	7,292	6,930	△ 362	−5%
経常利益	8,084	7,419	△ 665	−8%
当期純利益	4,694	4,289	△ 405	−9%

KINUGAWA

第1号議案

剰余金の処分の件

主な内容

期末配当に関する事項

① 配当財産の種類；金銭といたします。

② 配当財産の割当てに関する事項及びその総額；
当社普通株式1株につき金5円
総額 336,068,675円となります。
これにより、当期の年間配当金は、 中間配当金の1株につき金5円と合せて、1株につき10円となります。

③ 基準日；平成27年3月31日
（平成26年10月1日～平成27年3月31日）

④ 剰余金の配当が効力を生じる日；平成27年6月26日

第2号議案

取締役2名選任の件

取締役候補者

安 斉　　勉

大 高　由 紀 夫

第3号議案

監査役1名選任の件

監査役候補者

北　澤　　浩

KINUGAWA